

## 本冊子発行にあたって

本会の運営につきましては、平素から格別のご指導を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、ご案内のように本会は、昭和 43 年 5 月に労働省（現厚生労働省）から公益法人として設立を許可され、また平成 25 年 4 月から一般社団法人仮設工業会として活動しております。本会は、昭和 44 年 12 月より今日まで「仮設機材認定基準」を定め、業界の自主規制による認定検査（工場審査及び抜取試験）を実施してまいりました。昭和 57 年に仮設機材についての労働大臣が定める規格が制定されたことに伴い、その規格をもとに「仮設機材認定基準」を改正し、その後も新たな品目の認定基準の追加を行い現在に至っております。

昨今では、本会が実施している認定検査制度（以下「認定制度」という）が建設業をはじめ関係業界に高く評価され、現在、建設会社、リース会社等の保有している認定対象仮設機材は、大半のものが本会の認定を受けたものとなっております。

しかしながら、このような認定検査に合格したものでありましても、使用中、発生した変形、曲がり、損傷等により強度等が著しく低下することもあり、長年使用したときの経年劣化もありますので、建設会社、リース会社等が行う機材管理については整備、修理等が適正に行われなければなりません。

このため本会では、経年仮設機材の管理に関する技術基準（労働基準局長通達の「経年仮設機材の管理指針」をもとに作成）を定め、経年仮設機材管理基準適用工場制度（建設会社の機材センターに対する「登録工場」及びリース会社等に対する「指定工場」がある。）を昭和 54 年 11 月より実施しております。平成 29 年 3 月末日現在、この制度に基づき適用工場として認定された工場数は、指定工場 471、登録工場 28 となっております。

また、昭和 62 年よりシステムとして組み立てられた仮設構造物を対象とし、各システムごとに組立基準・使用基準等を含めて安全性を確認し承認する「仮設構造物等の安全性に関する承認制度」を実施しております。さらに、平成 13 年度より基準・規格が定められていない仮設機材について設置箇所、設置目的等に対応した安全性を確認し、承認する「単品仮設機材等の安全性に関する承認制度」を実施しております。

本冊子は、これらの制度により認定を受けたもの、承認を受けたもの等について取りまとめたものであります。また、CD は掲載データを PDF として収め、検索機能を付加したもので、これにより会社名、型式等の検索が容易にできるものです。

つきましては、労働安全衛生法第 88 条第 2 項の規定に基づき提出された足場、型枠支保工等の計画の届出に対する所轄労働基準監督署等における審査時等に参考としていただければ幸甚に存じます。

平成 29 年 7 月

一般社団法人仮設工業会  
会 長 伊藤 正人